



平成26年1月14日

各 位

会社名 株式会社サカタのタネ  
 代表者名 代表取締役社長 坂田 宏  
 (コード番号 1377 東証第一部)  
 取締役執行役員  
 問合せ先 管理本部長兼経理部長 宇治田明史  
 (TEL. 045-945-8800)

## 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成25年7月12日に公表しました平成26年5月期第2四半期累計期間(平成25年6月1日～平成25年11月30日)の業績予想値と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成25年7月12日に公表しました平成26年5月期(平成25年6月1日～平成26年5月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成26年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値との差異(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回発表予想(A)	24,000	1,500	1,500	1,000	22.22
今回実績(B)	24,278	2,179	2,339	1,508	33.51
差異額(B-A)	278	679	839	508	
差異率(%)	1.2	45.3	55.9	50.8	
前期第2四半期実績 (平成25年5月期第2四半期)	21,637	1,320	1,713	1,499	33.31

2. 平成26年5月期第2四半期（累計）個別業績予想数値との差異（平成25年6月1日～平成25年11月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益（円）
前回発表予想（A）	15,000	300	200	4.44
今回実績（B）	15,148	1,301	931	20.70
差異額（B－A）	148	1,001	731	
差異率（％）	1.0	333.9	365.9	
前期第2四半期実績 （平成25年5月期第2四半期）	14,679	947	595	13.22

3. 平成26年5月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年6月1日～平成26年5月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 （円）
前回発表予想（A）	51,500	3,300	3,400	2,400	53.33
今回修正予想（B）	52,000	3,300	3,500	2,500	55.55
増減額（B－A）	500	－	100	100	
増減率（％）	1.0	－	2.9	4.2	
前期実績 （平成25年5月期）	50,274	2,219	3,564	3,098	68.86

4. 平成26年5月期通期個別業績予想数値の修正（平成25年6月1日～平成26年5月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益（円）
前回発表予想（A）	33,000	1,200	900	20.00
今回修正予想（B）	33,000	1,400	1,000	22.22
増減額（B－A）	－	200	100	
増減率（％）	－	16.7	11.1	
前期実績 （平成25年5月期）	32,654	2,403	1,884	41.89

## 5. 修正の理由

### (1) 第2四半期連結・個別業績予想数値との差異について

#### (連結業績)

- ① 売上高は、単体での種子売上が好調だったことに加え、欧州、ブラジルでも野菜種子販売が伸びたことなどから、当初予想比2億78百万円増(同1.2%増)の242億78百万円となりました。
- ② 営業利益は、北米では生産原価増の影響を受けましたが、一般的に採算性の高い野菜種子売上が大きく伸びたため、当初予想比6億79百万円増(同45.3%増)の21億79百万円となりました。
- ③ 経常利益につきましても、当初予想比8億39百万円増(同55.9%増)の23億39百万円となり、四半期純利益も当初予想比5億8百万円増(同50.8%増)の15億8百万円となりました。

#### (個別業績)

- ① 個別業績は、小売事業が天候不順などの影響により当初予想比減収となりましたが、アジア向けの野菜種子販売が好調に推移し、国内卸売事業においてもトマト、ブロッコリー、ニンジンなどの野菜種子の売上が伸びたことなどから、当初予想比増収となりました。
- ② 経常利益は、採算性のよい野菜種子売上増による利益貢献、小売事業の物流コスト圧縮に加え、販売費及び一般管理費が一部下期にずれ込んだため、当初予想比10億1百万円増(同333.9%増)の13億1百万円、四半期純利益は当初予想比7億31百万円増(同365.9%増)の9億31百万円とそれぞれ増益となりました。

### (2) 通期連結・個別業績予想数値の修正について

#### (連結業績)

- ① 通期の連結売上高は、期初から続く円安の影響を受け、円ベースでは増収となる見込みです。一方、営業利益は、下期の単体業績が前倒し受注の反動で予想を下回ることとなった結果、通期では当初の予想通りの金額を見込んでおります。経常利益、当期純利益におきましては、為替の影響で若干の増益となるものと予想します。
- ② これらの結果、売上高を520億円(当初予想比5億円増、1.0%増)、経常利益を35億円(当初予想比1億円増、2.9%増)、当期純利益を25億円(当初予想比1億円増、4.2%増)に修正いたします。

#### (個別業績)

- ① 卸売野菜種子販売が上期の前倒し受注の反動の影響で、下期には若干の減収となる見込みです。また小売事業および造園緑花事業におきましても、下期は引き続き低調に推移すると予想しております。この結果、上期は予想比増収となりましたが、通期では当初予想並みの売上高を見込んでおります。
- ② 経常利益、当期純利益につきましても、下期の種子売上が当初予想比減収になること、および上期よりずれ込んだ販売費及び一般管理費が計上されることから、それぞれ当初予想比若干の増益にとどまる見込みです。
- ③ これらの結果、売上高を当初予想通りの330億円、経常利益を14億円(当初予想比2億円増、16.7%増)、当期純利益を10億円(当初予想比1億円増、11.1%増)に修正いたします。

なお、今回、通期の為替レートを100円/US\$、135円/ユーロに変更しております。

(注) 本資料に記載された業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上